



樹木いきいき講座 <その7> 3班 藤原満男



田んぼや畑を持つ人は、冬が終わるまでに周辺整備を行います。石垣の補修、水漏れ対策や排水、日陰をつくる樹の伐採(陰切り) などです。

庭も同じように植え替えなど土木工事が主ですが、春の芽吹き前までにやり残した樹や大きくなり過ぎた樹の剪定をします。

私は 2 月下旬になってからブドウ・フジ・キウイ・ウメ・ナシ・オリーブ・ブルーベリーを剪定しました。3 月にクルミ(実生苗)・ユスラウメ・レンギョウ・ムクゲ(挿し木苗) を植える予定です。

因みにブドウ・キウイなどのツル性の樹を、形を整える為に誘引するのは枝が柔らかくなる 3 月中旬です。

また、梅の剪定で垂直に伸びる徒長枝は、小指大以上はつけ根から除去し、小指大より細いものは 2~3 芽残します。残し方は、一番上の芽が内芽(上向き芽) だと新しく伸びる枝が幹側に伸びて混み合うようになるので、外芽(下向き芽) の 3 ミリほど上で切ります。垂直であれば幹から放射状に伸びるような芽の上で切ります。徒長枝を放置すると、徒長枝に養分などが集中してしまい、繁茂して近くの日陰になった枝を枯らしたり、樹形を乱して収穫が難しくなります。果樹の場合も、剪定し易くする為と同時に収穫がし易いように工夫します。

